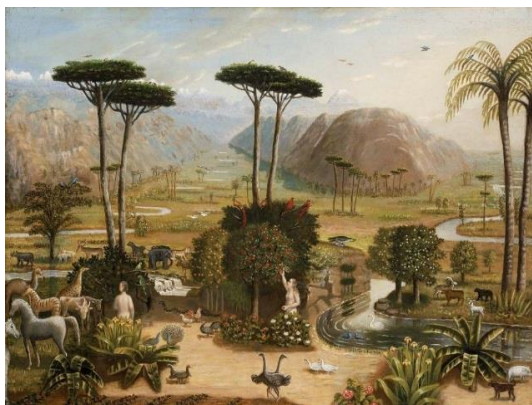


奥義

知っておきたいキリスト教のことば (30)

「奥義（おくぎ）」という言葉は、新共同訳聖書では旧約聖書の中にだけ見られます。以前使用していた口語訳聖書では、新約聖書にもあったのですが、新共同訳聖書では同じ箇所が、「神秘」と訳されています。

「奥義」の一般的な意味を辞書で調べてみると、「学芸・武術などの奥深い肝要な事柄、極意」とありました。映画や漫画でもよく描かれる、主人公が苦勞し、努力して、ようやく到達する高い目標点のようなイメージでしょうか。



しかし聖書がいう「奥義」は、そのような努力をする一部の人たちに与えられるものではありません。「秘密」という意味合いの方が強いのです。

この「奥義」は普段は隠されていてわからないものですが、神さまの方から啓示されることによって、わたしたちも理解することが可能になるのです。神さまの側に主導権があるのであって、わたしたちの知的な努力や修行などとは、一切関係ありません。

新約時代のヘレニズム世界においても、また現代のわたしたちの周りにも、密儀宗教というものは多くあります。そこではすべての秘密は入信者にのみ明らかにされます。

しかし聖書が伝える福音は、イエス様の全生涯を通してすべての人に明らかにされました。イエス様は神さまによる支配が差し迫っていること、そしてそれが神さまの永遠の目的であることを告げられました。それはキリスト者のみならず、すべての人たちに示されているのです。

そのことを強調するために、「奥義」という自分たちの努力を連想させる言葉ではなく、「神秘」と訳すようになったのかもしれませんが。

次回は「教え」です。お楽しみに。